

第9回仙台市新型コロナウイルス感染症対策会議 議事概要

日 時：令和3年1月23日(土)16時00分～16時24分

場 所：仙台市役所本庁舎3階 秘書課第一応接室

出席者：郡市長（議長）、藤本副市長、高橋副市長、危機管理監、総務局長、新型コロナウイルス感染症対策調整担当局長、まちづくり政策局長、財政局長、市民局長、健康福祉局長、子供未来局長、環境局長、経済局長、文化観光局長、都市整備局長、建設局長、青葉区長、宮城野区長、若林区長、太白区長、泉区長、会計管理者、消防局長、教育長、議会事務局長、水道事業管理者、交通事業管理者、ガス事業管理者、病院事業管理者
仙台市医師会 永井顧問、宮城県保健福祉部 梶村次長

次 第：1. 開 会

2. 議 事

(1)本市の感染状況について

(2)宮城県の対応について

(3)本市の対応について

3. 閉 会

議事要旨：

(1)本市の感染状況について

- ・現在、緊急事態宣言の対象が、11都府県に拡大されている。首都圏などでは、感染者の発生数が一定程度抑制されているものの、未だ高止まりの状況が続いている。
- ・宮城県や本市においても多くの感染者が出ており、この間の接待を伴う飲食店への時短要請等により、クラスターや、感染者の爆発的な発生は抑え込めているが、全く予断を許さない大変厳しい状況である。
- ・資料1について健康福祉局長より説明

(2)宮城県の対応について

- ・資料2について新型コロナウイルス感染症対策調整担当局長より説明

(3)本市の対応について

- ・資料3について危機管理監、経済局長より説明

○関係局長より報告

<健康福祉局長>

- ・自宅療養者への支援について報告する。1月9日の前回会議において、永井顧問からもご提言いただいたパルスオキシメーターの配付について、本市では18日より開始し、昨日22日までに、入院治療の必要のない方のうち、症状のある方や高齢者を中心に39人に届けた。
- ・自宅療養者への食糧品支援についても、18日から対象者の意向を伺い、昨日までに37人に届けている。引き続き推進していきたい。

○市長より指示

- ・今回、営業時間短縮の期間を再度延長するとともに、対象地域を、仙台市全域に拡大した。改めて要請内容を丁寧に周知していくとともに、厳しい状況の中、要請に協力いただいた事業者

への協力金の円滑な支給についても、しっかりと取り組んでいくこと。

- ・市民には、会食する際、少人数、短時間で、食べるときだけマスクを外し、会話の時はマスクを着用するなど、感染リスクを低くする工夫をしていただくよう周知すること。
- ・家庭内での感染も多くみられることから、家庭内においても、マスクの着用や定期的な換気などの基本的な感染予防対策の徹底、また、体調がすぐれない場合は、すみやかにかかりつけ医などへ相談し、医療機関を早めに受診するように周知すること。
- ・11都府県との不要不急の往来の自粛についても引き続き周知に努めること。

○仙台市医師会 永井顧問より

- ・自宅療養者へのパルスオキシメーターの配付について、県では宿泊療養者には提供していたが、入院調整中の方々が容体急変により死亡するニュースが全国各地であるところ、患者の不安を解消することや、保健所の患者監視にも有効である。また悪化前の呼吸状態を把握することは非常に大切であり、市ですぐに対応してもらってよかった。
- ・営業時間の短縮については、飲食店の方々に厳しい状況が続いている。今回は仙台市全体で取り組むとのことで、市民とともに基本的な感染防止策を励行し、いち早く感染を抑え込むのが大事である。
- ・仙台は少し減ってきたのでこのまま行けばよいと思っている。

○宮城県保健福祉部 梶村次長より

- ・本日、県の対策本部においては時短要請の区域の拡大を決定するとともに、緊急に取り組むべき課題として、受け入れ病床の確保に向けた緊急取組について確認させていただいた。
- ・引き続き仙台市と連携して取り組んでまいりたい。

○市長より総括

- ・国が緊急事態宣言の対象地域を拡大しており、本市も含め全国で、さらに危機感をもって感染拡大をくい止めるため、取り組みを進めていかなければならない。
- ・新型コロナウイルスの感染者が国内で確認されてから、約1年が経過し、この間、市民は新しい生活様式へ変容し、事業者には、大変厳しい状況の中、様々な要請に応じていただいている。また、医療関係者にも、献身的に治療等に從事いただいております。改めて感謝申し上げます。
- ・引き続き、感染状況等を踏まえ、感染拡大の防止と社会経済活動の維持と両立を持続的なものとするため、市民、事業者とともに、本市の力を集結して各般の取り組みを全力で進めていく。

以上